



株式会社勝浦ホテル三日月 (ホテル三日月グループ)

「スパ&リゾート」というビジネスモデルで千葉県を中心に大型ホテルを展開。海外初進出に向けて、2018年に現地パートナー企業と株式譲渡契約を締結、2019年に土地使用権を取得し、建物の着工。2020年から順次開業を目指す

展開国・地域 2019年 ベトナム

企業情報 所在地: 千葉県勝浦市 従業員数: 200名
設立: 1961年11月 URL: <http://www.mikazuki.co.jp/katoura/>

事業内容 ホテル業



- 1 総開発面積は13ヘクタール、ダナン湾エリア初の5スターホテルとレジャースポット
- 2 1期目として2020年6月オープン予定のアジア最大級「温泉&アクアドーム(1ヘクタール)」
- 3 パートナー企業との交渉、創業者の故・小高芳男会長(中央)を囲んで



海外進出のきっかけは社員旅行

弊社は、創業以来50年にわたり国内でビジネスを行ってきましたが、国内の建築費、人件費、原材料費が高騰し経費がかさむ一方、人口減少による市場縮小、労働力減少は、リゾートホテルにおいて成長戦略が描きにくい状況にありました。そんな中、突然転機がやってきます。弊社では、毎年社員旅行を企画しており、2017年にベトナムを訪れました。滞在中の夕食時、創業者である故会長から「ベトナムならわれわれが思い描いている商売ができるのではないかと」と、ベトナムの市場成長性と100年企業としての弊社の経営を見据えての一言を受けました。帰国後、メインバンクに相談したところ、「海外展開であればジェットロに相談してみても？」と提案を受け、最寄りのジェットロ千葉を訪問。「新輸出大国コンソーシアム」に登録し、弊社はベトナム進出に向けて舵を大きく切り始めます。以降、サービス産業や税務に知見を持つ専門家を中心に、毎月のように面談を重ねることになります。

度重なる交渉の末に

土地の選定にあたっては、ベトナム国内30カ所もの候補地を視察しました。眼前に広がるダナン湾が三日月型であるというストーリー性も相重なり、その中からダナンの土地を候補地として選定。しかし、その矢先に創業者の会長が他界します。会長の遺志を継いだ私たちは、土地を所有する現地企業との交渉を進めることになります。計画を進めるためには、経済合理性を追求する冷静さと勇気ある経営判断を下す情熱の両面が不可欠です。担当専門家からは、現地企業との提携に向けてのデューデリジェンスの重要性や交渉における留意点などアドバイスをもらい計画を進めました。過去に類を見ないケースを含む、困難が多い計画だったため、幾度も交渉が決裂しそうになりましたが、M&Aはもとより、ベトナム最大手ゼネコンとの直接契約や、営業ライセンスの取得まで、ダナン市における日系企業過去最大の120億円の投資が、発案からたった2年で着工までを迎えられたのは、関係者の尽力のお陰です。

ベトナムでも親子三代に愛される旅館を目指して

ダナンでは、現在20軒ほどの5スターホテルがあります。その中で他社にない弊社の強みは、日帰りでも365日楽しめる全天候型スパ施設(アジア最大級の大きさ)をはじめとする多機能型ホテルである点です。また、5スターホテルが立ち並ぶミーケビーチではなく、ダナンビーチ初の5スターホテルを目指すのは、まさしく創業理念の「観光創造」と合致します。日本の売りとしている「親子三代」に愛されるホテルと、日本文化の発信基地をベトナムで目指します。当初から支援いただいた金融機関をはじめ、関係ステークホルダーの皆様には、創業者の夢にお付き合いいただき、心より感謝しています。また、アジアで商売をする際に感謝を忘れてはいけないのは、日本のビジネスパーソンの先人のお陰で、今は日本人の価値が非常に高い地位にあることです。目先の自己の利益のみならず「和を以て貴しとなす」つもりで、世界一の老舗企業大国である誇りを持ち、旅館業の新たな形の持続的発展にまい進いたします。



代表取締役社長

小高 芳宗 氏

やってみなければ分からない。
情熱と経済合理性をもって
目指す2000年企業への挑戦

専門家からのポイント



ベトナム・ダナン市への「スパ&リゾート」ホテルの進出は、勝浦ホテル三日月にとって初めての海外進出であり、現地物件を広大な土地(借地権)付きで買収する大型投資案件でした。同社が数々のチャレンジを乗り越え、成果を得られた要因は、故会長のご遺志実現へ向けた経営陣の強い意思、チャンス逃さない即断即決の姿勢、ベトナムファーストの精神、ジェットロの協力・支援体制の存在の4点が挙げられると思います。専門家としては税務や法務、商標分野といったスポット支援の専門家の協力を得ながら、タイムリーに必要な助言を行うことを心掛けました。